

The background of the entire page is a vibrant, abstract composition of colorful light trails and particle effects. Swirling lines of blue, yellow, orange, and purple light create a sense of dynamic movement. Interspersed among these lines are numerous small, glowing particles in various colors, including green, red, and white, which appear to be drifting or falling through the space. The overall effect is reminiscent of a cosmic or digital landscape, with a dark, almost black, background that makes the bright colors stand out.

inochi WAKAZO Forum 2022

— 情熱で、いのちを輝かそう。 —

報告書

inochi WAKAZO Project



■タイトル	inochi WAKAZO Forum 2022
■主催	inochi WAKAZO Project 一般社団法人 inochi 未来プロジェクト
■日時	2022年11月20日（日） 13:30開会／18:30閉会 〈第1部〉 13:30 - 16:40 〈第2部〉 16:50 - 18:30
■会場	中之島会館 〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階 TEL (06)6233-4800
■参加方法	公式HP上の参加予約フォームよりお申込み ※参加費無料

協賛

■Donation Partner 株式会社りそな銀行
 ■i-GIP Partner 一般財団法人三菱みらい育成財団
 ■Platinum Sponsor 株式会社カーポートマルゼン
 ■Gold Sponsor 株式会社ワオ・コーポレーション
 ■Silver Sponsor 株式会社パソナグループ
 ■Bronze Sponsors 塩野義製薬株式会社 / サラヤ株式会社 / アストラゼネカ株式会社 / i2.jp / Route H / Global Learning Center / 日本イーライリリー株式会社 / 一般社団法人 ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン
 ■Freiend Sponsors コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 / 株式会社エネゲート / 京都リサーチパーク株式会社 / miyako起業部@krp / HVC KYOTO / nhes / 大阪イノベーションハブ / 株式会社クロスエフェクト / プロポーショナルづくりのダイアナ / 株式会社新進化学 / 三井住友海上火災保険 / 株式会社アインホールディングス / 一般社団法人京都試作ネット / 阪急電鉄株式会社 / 株式会社イーエル・オカモト / 堺登美丘ライオンズクラブ / 英進館株式会社 / ロート製薬株式会社 / テルモ株式会社 / cic tokyo



りそなグループ



一般財団法人
三菱みらい育成財団



カーポートマルゼン

WAO! ワオ・コーポレーション



PASONA



SHIONOGI

いのちをつなぐ
SARAYA



Route H
海外トップ大造学塾

AstraZeneca

i2.JP

GLOBAL
LEARNING
CENTER

Lilly

LINK-J
Life Science Innovation Network Japan



ENEgate



miyako
起業部
@krp

HVC: KYOTO



Diana
Solution for Life



MS&AD
三井住友海上

アイングループ

Hankyu



英進館

NEVER SAY NEVER
ロート製薬

TERUMO

cic tokyo

後援

経済産業省近畿経済産業局 / 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 / 公益社団法人関西経済連合会 / 一般社団法人関西経済同友会 / 大阪商工会議所 / 公益財団法人関西・大阪21世紀協会 / 公益財団法人 大阪観光局 / 大阪府 / 大阪市 / 一般社団法人日本バイオデザイン学会 / 一般社団法人夢洲新産業・都市創造機構 / 一般社団法人健康医療クロスイノベーションラボ / 大阪大学 大学院医学系研究科・医学部附属病院 産学連携・クロスイノベーションイニシアティブ / 大阪公立大学 観光産業戦略研究所 / 金沢大学 融合研究域 / 日本貿易振興機構(ジェトロ)大阪本部 / 公益社団法人 東京都医師会 / 一般社団法人 大阪府医師会 / 一般社団法人 日本心不全学会 / 一般社団法人 日本循環器学会 / 一般社団法人 日本腰痛学会 / 公益財団法人 日本心臓財団 / 一般社団法人 日本心臓病学会 / 一般社団法人 日本循環器協会 / 一般社団法人日本心不全学会 / 関西SDGsプラットフォーム大学分科会 / 大阪大学社会ソリューションイニシアティブ / 文部科学省 [順不同]

※敬称略・順不同

オープニング・代表挨拶

13:30～13:45

inochi WAKAZO Projectの今年の活動の集大成である本フォーラム「inochi WAKAZO Forum 2022 - 情熱でinochiを輝かそう。-」。開催に寄せられたメッセージや、1年間の活動に込めた代表の想いをお伝えいたします。
若者の挑戦が、ここから始まります。

【司会】

國生 千代 アナウンサー

【代表挨拶】

北野 幸一郎 inochi WAKAZO Project 2022全体代表 / i-GIP 2022 関西代表
京都府立医科大学医学部医学科 2年

inochi WAKAZO Forum 2022

-いのちをまもる-

視聴者投票
プログラム

13:45～16:45

inochi Gakusei Innovators' Programとは、若者がヘルスケア課題に取り組むアイデアコンテストです。本年度は、関西・関東・北陸・四国・九州の5地域で開催(関西は8年目、関東は4年目、北陸は3年目、四国は2年目、九州は1年目)し、関西・関東・北陸・九州は「心不全パンデミック」、四国は「腰痛」をテーマに活動をしました。応募のあった299チームの中高高専生の中から選ばれた93チームの生徒が参加しました。加えて、昨年と同様、日本国外でもプログラムを展開しました。USAでは「認知症」をテーマとして活動が行われました。
参加者は、様々な分野のトップランナーからの教育プログラムを約4か月受け、若者ならではのプランを考案・実行してきました。本Forumでは、関西・関東・北陸・九州の4地域の中で優秀なプランを生み出した中高高専生6チームがプロジェクトの成果を発表し、最優秀賞チームには、賞金として15万円が贈呈されました。また、USA、四国の学生代表各1チームが、プロジェクトの成果を発表します。

第一部開会挨拶
プログラム紹介

6チームによる
プレゼンテーション

審査

i-GIP 四国/USA/淡路島
によるプレゼンテーション

結果発表
第一部閉会挨拶

【i-GIP全体説明】

島 碧斗 i-GIP 2022 全地域代表 / 東京大学一教養学部文科一類2年

【i-GIP四国説明】

五畠 大輝 i-GIP 2022 四国代表 / 徳島大学医学部医学科4年

【USA説明】

田邊 翼 USA 代表 / 大阪大学医学部医学科5年

【淡路島説明】

鈴木 光穂 淡路島 代表 / 神戸大学医学部医学科2年

【出場チーム】

関西最優秀賞チーム inochi×together

四国最優秀賞チーム タグブラFellows

関東最優秀賞チーム サモエドはもふもふ

USA最優秀賞チーム Sleep-EZ

北陸最優秀賞チーム ascend

九州最優秀賞チーム KAJI

敗者復活チーム cardiaca

敗者復活チーム セーラームーン

【審査委員長】

池野 文昭 Program Doctor,Stanford BiodesignAdvisory Director,Japan
Biodesign / inochi未来プロジェクト理事

【審査員】

鈴木 寛 東京大学 / 慶應義塾大学 教授 / inochi未来プロジェクト理事
八木 雅和 大阪大学寄附講座准教授 / inochi未来プロジェクト理事
小林 正宜 葛西医院院長 / KISA2隊 大阪隊長
岩宮 貴紘 株式会社METCERA代表取締役

【コメンテーター】

武中 章太 大阪大学 大学院医学系研究科 器官制御外科学 (整形外科) 講師

inochi WAKAZO Forum 2022

-いのちを愛する-

16:25~17:00

2025年大阪・関西万博のメインテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。いのちとは何か、いのちが輝くとは何か、これらを一般市民を含めたみんなが考えていくことこそが、万博において大事になってくると思います。

私たちは、いのち輝く未来社会の実現に向けて、「いのちを愛する」ことの意義を訴えたいと思います。そしていのちを愛するために、生だけでなく死に向き合い、生と死の二面性を理解し受け入れることがいのちを愛するために大切なことだと思っています。

第二部では、死にフォーカスをし、最後になんと言って死にたいかという“LAST WORDS”の企画についてお話しします。そして死を切り口に生きることを問い直し、生きる情熱に変えていくための議論をパネルディスカッションにて展開し、そして、いのちを愛することがどんな未来を創造していくのか、そんな期待感を皆様にお伝えさせていただきたいと思っています。

WAKAZO
プレゼンテーションLAST WORDS
インタビュー

パネルディスカッション

万博企画

【代表プレゼン】

飯塚 遼馬

WAKAZO代表 / 立命館大学政策科学部政策科学科1年

LAST WORDSインタビュー

17:00~17:20

輝くいのちの裏側には、消えゆくいのちがあり、ライフサイエンスやテクノロジーの発展は、「死」の定義を変えてしまうかもしれない。死と生、生きる情熱についての問いを実際に立て、考えるきっかけとします。理想の最期の言葉“LAST WORDS”や燃やし尽くしたい情熱について、国内外でいのちを守る活動をしてきた若者や医療従事者にいのちのインタビューを行います。

【インタビュアー】

中図 仁南

WAKAZOメンバー / 同志社大学文化情報学部1年

パネルディスカッション

17:25~18:30

「inochiのペイフォワード」の今後の絵と、WAKAZO Summit Expo 2025の開催宣言を受け、登壇者の方が描く万博で描きたい「いのち」の在り方との共創や、世界の若者が集い、描きたい未来を描く万博にするためにはどのようなことが必要かを熟議する。

【ファシリテーター】

鈴木 寛

東京大学 / 慶應義塾大学 教授 / inochi未来プロジェクト理事

【パネリスト】

澤 芳樹

大阪警察病院院長 / inochi未来プロジェクト

堺井 啓公

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会機運醸成局長

山川 みやえ

大阪大学医学系研究科保健学専攻看護実践開発科学講座准教授

福原 志保

バイオアーティスト / 研究者 / 開発者

北野 幸一郎

inochi WAKAZO Project 2022全体代表 / i-GIP 2022 関西代表

京都府立医科大学医学部医学科 2年

飯塚 遼馬

WAKAZO代表 / 立命館大学政策科学部政策科学科1年

万博企画

17:25~18:30

いのち輝く未来社会の実現に向け、若者の情熱を発信し、若者が2025年の大阪・関西万博、そしてその先の未来までその情熱を脈々と受け継いでいく宣言をしました。

【宣言者】

井口 一步

i-GIP 関西メンバー / 奈良県立医科大学医学部医学科3年

南澤 さくら

WAKAZOメンバー / 順天堂大学医学部医学科1年

※敬称略・順不同

情熱で、いのちを輝かそう。

司会

代表挨拶



国生 千代

アナウンサー



北野 幸一郎

inochi WAKAZO Project 2022全体代表
京都府立医科大学医学部医学科 2年

いのちをまもる

モデレーター / 審査員



鈴木 寛

東京大学 / 慶
應義塾大学 教
授 / inochi未来
プロジェクト
理事

八木 雅和

大阪大学大学
院医学系研究
科保健学専攻/
寄附講座准教
授 / inochi未来
プロジェクト
理事

池野 文昭

Stanford
University/
inochi未来プ
ロジェクト理
事

岩宮 貴紘

株式会社メトセ
ラ/代表取締役
(co-founder
and co-CEO)

小林 正宜

葛西医院 院長
KISA2隊大阪
隊長

武中 章太

大阪大学
大学院医学系研究科
器官制御外科学
(整形外科) 講師

いのちを愛する

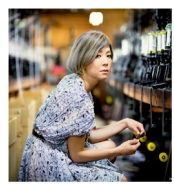
ファシリテーター / パネリスト



鈴木 寛

東京大学 / 慶
應義塾大学 教
授 / inochi未来
プロジェクト
理事

澤 芳樹

大阪警察病院
院長 / inochi未
来プロジェクト

福原 志保

バイオアーテ
ィスト / 研究
者 / 開発者

山川 みやえ

大阪大学医学
系研究科保健
学専攻看護実
践開発科学講
座准教授

堺井 啓公

公益社団法人
2025年日
本国際博覧会
協会機運醸成
局長

飯塚 遼馬

WAKAZO代表
/ 立命館大学
政策科学部政
策科学科1年

北野 幸一郎

inochi WAKAZO
Project 2022全体
代表 / 京都府立
医科大学医学部
医学科 2年

■オープニング



本フォーラムを開催するにあたって、本年度 inochi WAKAZO Project 2022 全体代表を務めた北野幸一郎より挨拶がありました。

■開会宣言/i-GIP説明



一般社団法人inochi未来プロジェクト 理事の池野文昭先生による開会宣言で、第1部「inochi WAKAZO Forum 2022 -いのちをまもる-」が開幕しました。

■i-GIP 説明



今年度i-GIP 2022 全地域代表を務めた島碧斗より、inochi WAKAZO Projectの基幹プロジェクトであるi-GIPの現在までの変遷と込めた想い、今年のテーマ「心不全パンデミックを前に、君はどうする？」の説明および、第1部-いのちをまもる-にて行うプログラム内容と概要説明が行われました。

■心不全パンデミック 全国大会！（関西、関東、北陸、九州）



関西代表：inochi×together



関東代表：サモエドはもふもふ



九州代表：KAJI

関西、関東、北陸、九州においては、今年度「心不全パンデミックを前に、君はどうする？」を合同のテーマとして活動してきました。本フォーラムにおいては、それぞれ4地域より各地域最優秀チーム、また最後の登壇権争奪戦を勝ち抜いた計2チームの合計6チームによるプレゼンテーションコンテストが開催されました。北陸から参加した「ascend」チームが優勝し、賞金15万円を獲得しました。



北陸代表：ascend



敗者復活：cardiaca



敗者復活：セーラームーン

各チーム持ち時間10分（プレゼン6分、質疑応答4分）

<発表順>

- 1.inochi×together（関西最優秀チーム）
- 2.サエモドはもふもふ（関東最優秀チーム）
- 3.ascend（北陸最優秀チーム）
- 4.KAJI（九州最優秀チーム）
- 5.cardiaca（関西・争奪戦勝ち上がり）
- 6.セーラームーン（関東・争奪戦勝ち上がり）

■四国地域「腰痛」をテーマに開催



i-GIP SHIKOKU は「痛み和らぎ、腰に優しい日常を」をサブタイトルに「腰痛」について活動しました。代表の五嶋大暉より「腰痛」についてをテーマに挨拶がありました。今回のフォーラムでは四国予選の優勝チーム「たぐプラFellows」がプレゼンテーションを行いました。また、コメンテーターである武中章太先生に発表のフィードバックも頂きました。

■四国最優秀賞チームチームプレゼン



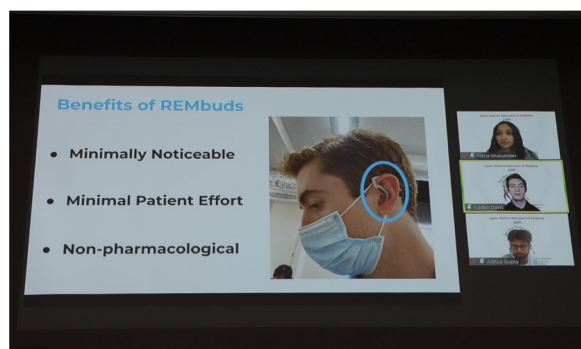
たぐプラFellowsは、5か月間、「腰痛」の課題に取り組んだ末、導き出したアイデアである「CoMリング」についてプレゼンテーションを行いました。「CoMリング」は、痛みを抱えながらも我慢してスポーツに取り組む中高生が、痛みを表現し、周りとの痛みについてコミュニケーションを行うきっかけとなるためのツールとして使用します。

■淡路島



今年度から、淡路市様、パソナグループ様全面協力のもと、淡路島の地でも、中高生に淡路島のヘルスケア課題に取り組んでもらうプロジェクトがスタートしました。初年度である2022年は、淡路島の地での幾度もの実地調査、また学校を訪問させていただき中高生にワークショップを展開し、Awaji-wellbeing-weekでの成果発表をさせていただきました。

■JAIM (Japan-America Innovators of Medicine)



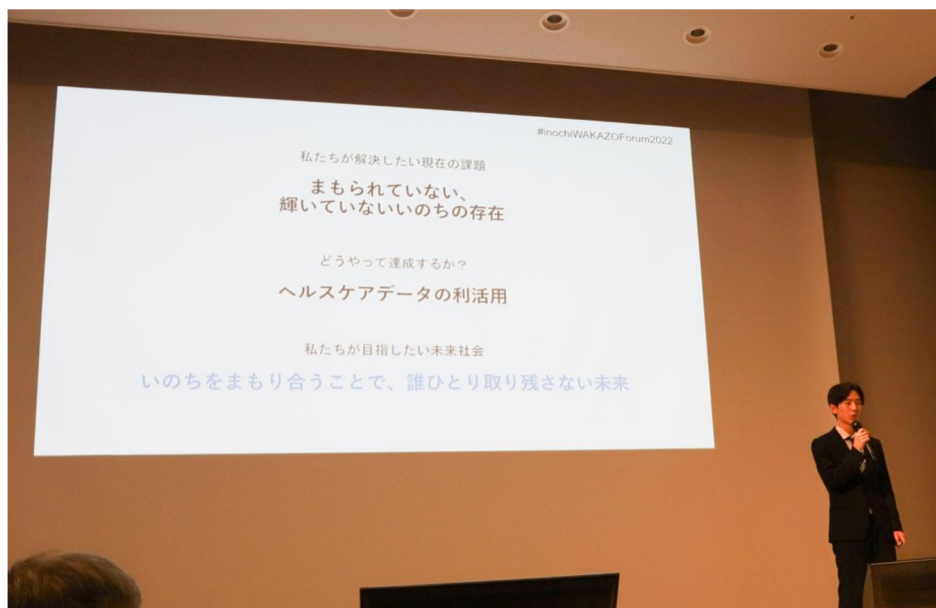
今年度、UCLAとStanfordに在学する日米の医療に関心を持つ米国学生と日本に集まり、認知症課題の解決に取り組みました。当日は現地学生と会場をつなぎ、超高齢化社会である日本医療の現場を体感することで創出した、認知症課題に対する解決案のプレゼンテーションが行われました。

■授賞式の様子



関西・関東・北陸・九州より集った6チームの中高生チームの中から最優秀チームが決定しました。最優秀賞を獲得したのは北陸代表の「ascend」で、心不全の早期発見を日常生活の中に浸透させるためのアイデアを提案しました。また、関西代表の「inochi x together」、関東代表の「セーラームーン」が優秀賞を獲得しました。
中学生が最優秀賞を獲得したのは、コンペ史上初となります。

■WAKAZOプレゼンテーション



WAKAZOからの課題解決として、「誰かのいのちを守りたい」という思いから自身のヘルスケアデータを提供するデザインである「inochiのペイフォワード」を提案しました。万博やその先の未来において、市民でいのちを守り合う社会を実現する展望についてプレゼンテーションを行いました。

■LAST WORDS



輝くいのちの裏側にある死について感じ、考え、議論するにあたり、WAKAZOが提唱する”LAST WORDS”を考えることの意義について、塚田有那様にビデオでのスペシャルメッセージをいただきました。続いて、「あなたの思い描く”LAST WORDS”は？」、「死を迎えるときどんな情熱を燃やし尽くしたいか？」の2つをキークエスションとして、9人の中高大学生に行ったインタビューを紹介しました。



実際に、新型コロナ訪問診療チームKISA2隊の守上佳樹先生、奥知久先生を舞台上にお招きし、WAKAZOメンバーの中図仁南より、生と死や、生きる情熱をテーマとしてインタビューを行いました。また、澤先生より、ビデオやインタビューの内容についてコメントをいただきました。

■inochi WAKAZO Forum 2022 パネルディスカッション

ファシリテーター：鈴木寛

パネリスト：①澤 芳樹 ②堺井 啓公 ③山川 みやえ ④福原 志保 ⑤飯塚 遼馬 ⑥北野 幸一郎
(敬称略)

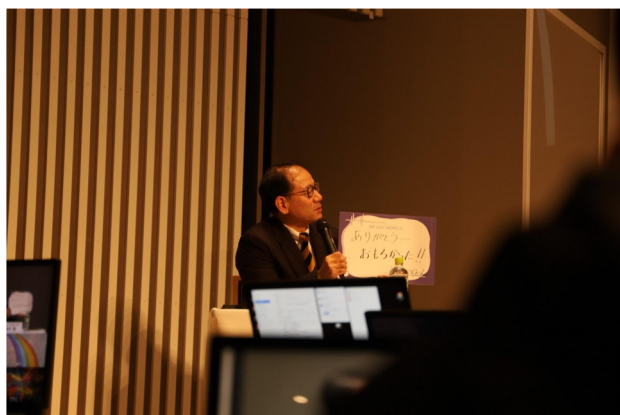
■inochi WAKAZO Forum 2022パネルディスカッション

以下の問いを通して、死生観や万博について熱いディスカッションを交わしました。

- ・あなたの思い描く”LAST WORDS”は？
- ・あなたは”LAST WORDS”に向かってどのように生きていくか？
- ・若者が万博に向けてどのようにいのちの輝きを守っていくか？

議論を通して、死を意識して考えることが生きていくことの大切さを実感するきっかけになるという気付きや、万博では死というテーマを超えたより人間の根幹に迫る問いを世界に投げかけていくという今後の展望を得ました。

また、inochi WAKAZO Projectメンバーによるグラフィックレコーディングを行いました。



■Ending



Endingでは万博企画として、学生代表2名から、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会機運醸成局長の櫻井さまへ宣言を行いました。宣言ではinochi WAKAZO Projectの活動内容・活動計画を伝え、万博で叶えたいWAKAZO BASE, WAKAZO ANOTHER WORLDを提唱しました。この宣言を通じてinochi WAKAZO Projectが万博で達成したい姿を伝えました。

総視聴回数

約**2000**回(2022年12月末時点)

来場者アンケート集計結果

▶第一部 いのちをまもる 満足度（5段階）

4.86

▶第二部 いのちを愛する 満足度（5段階）

4.50inochi WAKAZO Projectに寄せられた声（一部抜粋）

- 本当にみなさん真剣に取り組み頑張っている姿に心打たれました
- 中高生の発表内容、プレゼンともにとっても良く、このような若者が育っていることを嬉しく思い、また、それを忙しい中サポートしてきた大学生にも、熱意と指導力のすばらしさを感じ、日本の未来は明るいと感じることができた。
- 全チームクオリティが高く、学生の努力と才能を感じて大変良い物だった。
- どの学生さんも5ヶ月ほどの長期に渡り、調査したりプロトタイプを作成したり、プレゼン準備や練習...と、学校と並行しながらよく頑張ったと思います。おつかれさまでした。
- ここまで試行錯誤してきた事がわかり、興味深いものもあった、実現にむけ、さらに進んでください。
- 「大人顔負け」どころか、大人である自分が負けを認めてしまうようなハイレベルな提案でした。素晴らしかったです。
- 興味深く、説得力のあるプレゼンを聞くことができ面白かったです。ぜひ実用化されてほしいなと思います。
- どのチームもアプローチの仕方が違い非常に興味深かったです。現実的に実装していくことはなかなか難しいのかもしれませんが、心不全だけに限らずこのアイデアがどこかの誰かへの助けの切り札となったらいいなあと願っています。
- 課題解決の目の付け所から解決策まで大変興味深く拝見することが出来ました。
- テーマを考え、それを突き詰めて行動し、まとめて報告発表する、それを仲間としているのが素晴らしいです。
- 日本の若者のエネルギーを感じ日本の未来を喜びをもって想像することができた。
- 医療従事者だけではなく誰もが考えることのできる良い議題だったと思う。

公式HP


<https://inochi-wakazo.org/2022/forum/>

22/3/16	読売新聞 関西版に弊団体代表と i-GIP KYUSHU 代表のインタビュー記事が掲載「医学部進学のスズメ」 inochi WAKAZO Project の活動内容や医学部で学ぶ魅力、受験勉強などについて取り上げられました。
22/7/12	北國新聞に i-GIP HOKURIKU が掲載「心不全急増、予防法は？中高生が話し合う 11月にアイデア発表」 22/7/10に行われたKick Off Meeting の内容や中高生・代表の意気込みについて取り上げられました。 ▶web版 https://www.hokkoku.co.jp/articles/-/794076
22/7/30	徳島新聞に i-GIP SHIKOKU が掲載「徳島大医学部生と高校生らが『腰痛』のワークショップ 予防や症状緩和のアイデア探り、全国大会で発表」 活動の流れや腰痛というテーマに対する代表の想いが取り上げられました。 ▶web版 https://www.topics.or.jp/articles/-/744991
22/11/14	朝日新聞に WAKAZO が掲載「(Another Note) 関西経済界の万博『トラウマ』、一人負けから復活するには」 WAKAZOの活動内容や万博に向けた代表の意気込みが取り上げられました。 ▶web版 https://www.asahi.com/articles/DA3S15473819.html?iref=pc_ss_date_article
22/11/27	時事メディカルに inochi WAKAZO Forum 2022 が掲載「『inochi WAKAZO Forum 2022』 3年ぶりの会場開催～『心不全』をテーマに解決策を競う～」 開催概要や当日の様子について取り上げられました。 ▶web版 https://medical.jiji.com/topics/2848
22/11/30	読売新聞オンラインに i-GIP KANSAI Forum 2022 受賞結果が掲載「高1生チームが最優秀賞、医療課題解決の関西大会で...神戸女学院」 i-GIP KANSAI Forum 2022 にて神戸女学院のチームが最優秀賞を受賞したことが取り上げられました。 ▶ https://www.yomiuri.co.jp/kyoiku/support/information/CO036552/20221125-OYT8T50052/
22/12/12	慶應塾生新聞に i-GIP KANTO Forum 2022 が掲載「～i-GIP KANTO Forum 2022・現場ルポ～『私たちがいのちを守る』中高生60名がアイデア発表」 i-GIP の活動内容や最優秀賞チームのアイデア概要について取り上げられました。 ※22/12/28発行のweb版にてインタビューが掲載予定